

## 平成28年度地域密着型特別養護老人ホーム桐の花事業報告

- ・地域社会に開かれ、地域に根ざした施設の運営を行うべく取り組んだ。
- ・入居者が望む多様な援助を提供する個別ケアの実践に努めた。
- ・住み慣れた地域でこれまでの生活を継続できるよう支援した。

### 1 事業の概要

#### (1) 事業種類

ユニット型地域密着型介護老人福祉施設

#### (2) 事業規模

定員： 29名 ユニット区分〔こもれば10名、ぬくもり9名、やすらぎ10名〕

### 2 事業の実施状況

#### (1) 生活支援

##### ①食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めるものであることから、楽しんで食事ができ、かつ、個々の状況に応じた栄養管理をもって、より健康に過ごせるよう努めてきた。また、ユニット内でご飯・味噌汁を作ることにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者に盛り付けや下膳の手伝いをしていただくことにより、入居者の生きがいの創出ができるよう取り組んだ。

##### ②入浴

入浴回数は一人につき週2回行い、さらに本人の希望により入浴できるよう毎日入浴を実施した。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けた。個浴での対応が困難な方においては特別浴にて対応し、移乗の際は2人介助で対応するなど、安全に安心して入浴が出来るように努めた。体調不良などで入浴できない時は清拭を行う事で衛生保持に努めた。

##### ③排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者がより快適に過ごすことが出来るように努めた。

##### ④自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切に、本人の意思を確認しながら支援に努めた。また、入居者が自由に自分らしい生活が送れるように、声掛けや行いたいことのサポートをするよう努めた。

##### ⑤施設内行事・余暇活動

人と人とのふれあいの場として、喫茶店『こびり』の営業、ユニット毎に誕生会、余暇活動として節句や季節に応じた諸活動を行った。また、趣味と身体機能の維持増進を図ることを目的に、体操・手芸などのサークル活動を行った。

##### ⑥身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとケアに取り組んだ。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察を持って対応することに努めた。

#### (2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように、定期的（3ヶ月～半年毎）なケア会議をもち、入居者家族と多職種間の連携をもって取り組んできた。

#### (3) 健康管理

入居者一人ひとりが心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師、に

よる回診（週1回）、健康検診（年1回）、歯科検診（年1回）、口腔ケア指導（週1回）を実施して健康管理を行った。また、インフルエンザの流行時は、入居者・職員に予防接種を実施、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、さらにマスクの着用をもって感染予防に努めた。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

産業医の巡視の結果をもとに、問題点の改善・整備を図った。また、入居者が寛ぎ、交流出来る空間としてセミパブリックスペースを整備した他、掲示物の工夫をもって、楽しみある景観作りに努めた。

(5) 会議

施設の管理・運営や援助の方針の統一化を図るため、運営連絡会議、苦情解決事業連絡会議、ユニット会議、フロア会議、サービス担当者会議等を開催した。また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に、地域代表者等を委員とし、運営内容について地域より広く意見・助言を求め、運営推進会議を開催した。

(6) 専門組織

本体施設である紫桐苑と連携し、各職種の代表の参加により入居者の生活援助の向上と充実を図るため、サービス向上委員会、入所検討委員会、事故防止検討委員会、感染症管理委員会、身体拘束廃止委員会等の活動を展開した。

(7) 職員研修

援助技術の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ8回実施した。また、外部で開催された研修会へ5回、延べ8名が参加した。

(8) 防災対策

日中想定や土砂災害を想定した避難訓練、スモークマシンを使用した防災体験・防災学習、消火訓練等の部分訓練を実施した。また、防災用品の確認を行い、備蓄食の試食体験、ガス式発電機の使用方法についての習熟を行った。

(9) 交流・ボランティアの受入れ

地域行事への参加や新里保育所との交流会を行い、地域の方々との交流の機会が持てるよう努めた。また、施設・設備を活かした取り組みとして、会議室を地域の諸団体等での会議スペースとして開放したが、新里地区民生委員児童委員定例会等で使用していただいた。ボランティアの受け入れについては、マニュアルを作成して新里中学校などからの受け入れを行った。

(10) 活動内容等

月	活動等	会議	訓練
4	お花見ドライブ、喫茶「こびり」	第1回運営推進会議	
5	ドライブ、喫茶「こびり」、デイサービス運動会見学、新里小学校運動会見学		
6	菜園苗植え、喫茶「こびり」、桐の花通信発行	第2回運営推進会議	
7	新里保育所交流会、喫茶「こびり」、体操サークル		
8	納涼祭、喫茶「こびり」、花火大会、流しそうめん	第3回運営推進会議	
9	台風の影響により活動中止		
10	敬老を祝う会、新里保育所交流会、喫茶「こびり」、新里小学校学習発表会見学、体操サークル、桐の花通信	第4回運営推進会議	自衛消防訓練
11	和井内ふるさと収穫祭見学、おやつづくり、喫茶「こびり」、手芸サークル		
12	クリスマス会食、喫茶「こびり」新里中ボランティア受け入れ、手芸サークル	第5回運営推進会議	自衛消防訓練
1	水木団子づくり、喫茶「こびり」、手芸サークル		
2	節分、体操サークル		
3	ひなまつり、喫茶「こびり」、ラーメン試食会、手芸サークル、桐の花通信発行	第6回運営推進会議	自衛消防訓練

### 3 利用者の状況

#### (1) 年齢状況

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	0	1	2	1	2	0	0	0	6
女	0	0	0	2	2	8	5	5	0	22
計	0	0	1	4	3	10	5	5	0	28
比率 (%)	0.0	0.0	3.6	14.3	10.7	35.7	17.9	17.9	0.0	100.0
平均年齢〔 男性 80.5 歳 女性 89.0 歳 全体 87.1 歳 〕 最高年齢 97 歳 最低年齢 72 歳										

#### (2) 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	計
男	0	1	5	6
女	4	3	15	22
計	4	4	20	28
比率 (%)	14.3	14.3	71.4	100.0
平均在所期間〔男性 3年7ヶ月 女性 3年2ヶ月 全体 3年3ヶ月〕 最高男性 4年 最高女性 4年				

#### (3) 入退所状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規 入所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4
退所者	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末 在所者 数	男	9	9	8	8	8	8	8	8	8	6	6	6	—
	女	19	18	19	20	21	21	21	21	21	22	22	22	—
	計	28	27	27	28	29	29	29	29	29	28	28	28	—
退所者の平均在所者数〔 1年11ヶ月 〕														

#### (4) 入所前の状況

	男	女	計
自宅	2	16	18
医療機関	1	0	1
老健他	4	6	9
計	6	22	28

